

2024年度 ニチキッズ仙台しんてら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～2月7日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月7日（金）
	実施方法	職員の自己評価結果をふまえ話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶおもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し寄り添い、発達のサインを見逃さず保育内容を充実させてきた。子どもの力をひき出す保育で「主体性」「協調性」を育むことに注力している。今後も子ども達が「生き生きのびのび」と生活できるよう園内研修にて全職員が学び合い、より良い保育園作りをしていくようにしていきたい。
子どもの発達援助	子どもの姿を予想した保育計画を立案し日々保育を行っているが、計画に捉われず、子どもの自発性を大切に柔軟な保育を実践している。今後も子どもの発達、実状に沿った保育をしていきたい。2024年度は前年からの取り組みを継続しながら見立て遊びを充実させることで子ども同士の関わり合いを深めコミュニケーション力を引き出していった。
保護者に対する支援	送迎の際に、その日の子どもの様子とともに、成長した姿も伝えている。また「子育て支援掲示板」での保護者間の情報交換、保護者懇談会、保護者参加行事など様々な場面を通して園と保護者の信頼関係を構築し深めることができた。 育休中の保護者を対象に子育て支援イベントを開催し保護者同士の情報交換、交流ができた安心へとつながった。
保育を支える組織的基盤	各自が研修等で学んだ内容は、内部研修で更なる質の向上を目指した。1人1人の心と体の成長発達について会議で話し合いながら保育技能のスキルアップを図った。クラスや職種にとらわれず職員全員で1人1人の子どもの情報を交換し保育の充実を図っている。

総評
園の保育理念や保育方針に則り、子どもたちの発達に合った保育計画を立て取り組むことができた。主体性、能動性を育む「コーナー保育」を主軸としている。2024年度は見立て遊びをテーマに保育の充実を図った。2歳児クラスの見立て遊びが発展し小さいクラスへと受け継がれていくと、子ども同士の関わり合いが活発になり言葉によるコミュニケーション力につながった。五感を刺激する「感覚遊び」四季を感じる「自然遊び」を通して「不思議」に興味を持ち「なぜだろう」と考える力が引き出されていった。絵本、手遊び、歌、ダンス、により、みんなで表現することの面白さに気づき「のびのびと表現する力」が育まれた。子どもの発達と興味関心に合わせて「おもいっきり遊べて、おもいっきり学べる」適切な環境を整えている。引き続き保護者と登降園時のコミュニケーションを取り、情報共有をしながら、子どもと保護者に寄り添う温かな園運営を向上させていく。